

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	修正 使用 措置	感染症(中)	出典	概要
92	2007/04/24	70091	日本ポリ オ研究所	経口生ポリオワクチン	ウシ血清	ウシの血液	オーストラリ ア・ニュー ジーランド	製造工程	有	無	無	クロストリジウ ム感染	読売新聞 2007年2 月23日	千葉県の船橋市立医療センターは22日、同県内の50歳代の男性が、主に牛の病気の原因とされる「気腫菌」に感染し、死亡したことを明らかにした。人への感染が報告されたのは世界初である。気腫菌は傷口などから動物の体内に入り、筋肉が壊死する「気腫症」を発症させる。同センターは、「気腫菌」は人にも感染しないというのがこれまでの常識だった。詳しい感染経路を調べるのが今後の課題」としている。
93	2007/04/24	70092	日本ポリ オ研究所	経口生ポリオワクチン	ラクトアルブ ミン	ウシの乳	ニュージー ランド	添加物	有	無	無	クロストリジウ ム感染	読売新聞 2007年2 月23日	70091に同じ
94	2007/04/24	70093	日本ポリ オ研究所	経口生ポリオワクチン	トリプシン	ブタの臓臓	アメリカ・カ ナダ	製造工程	有	無	無	感染	The National (http://www.thenat ional.com.pg/02190 7/national1.htm)	ハブアニューギニアのSouthern Highlands地方で女性3名が汚染された豚肉を食べて死亡した。まだ同定されていない疾病のアウトブレイクで約1000頭のブタが死亡している。ブタは首の腫れ、インフルエンザ様症状、発熱を呈し、体の一部が壊死し、数日で死亡する。他の動物種も同様の症状を呈した後、死亡した。
												インフルエンザ	Sioux City Journal Online	米国アイオワ州東部の住民1名がブタインフルエンザと確定診断された。患者は入院しておらず、回復した。ヒトからヒトへの感染の証拠はない。
												レンサ球菌感 染	plgprogress.net 2007年2月21日	米国の科学者は北アメリカで初めて報告されたStreptococcus suis髄膜炎のヒト感染例を確認した。ニューヨークの健康であった59歳の男性農業従事者が髄膜炎で入院し、S. suis感染と判明した。患者の農場のブタからS. suisが確認された。S. suisはブタで重病を起こすグラム陽性球菌であり、ブタを扱う職業の人は注意が必要である。保健当局はヒトからヒトへの感染のおそれはないとしている。
95	2007/04/24	70094	塩野義製 薬	テセロイキン(遺伝子組換え) インターフェロン ガンマー1a(遺伝子組 換え)	バンクレアチ ン	ブタ臓臓抽出 物	アメリカ、カ ナダ	製造工程	無	無	無			
96	2007/04/24	70095	中外製薬	レノグラスチム(遺伝子組換え) エポエチン ベータ(遺伝子組換え)	ブタインスリ ン	ブタ臓臓	米国、カナ ダ	製造工程	有	無	無	レンサ球菌感 染	ProMED- mail20070223.0668	米国の科学者は北アメリカで初めて報告されたStreptococcus suis髄膜炎のヒト感染例を確認した。ニューヨークの健康であった59歳の男性農業従事者が髄膜炎で入院し、S. suis感染と判明した。患者の農場のブタからS. suisが確認された。S. suisはブタで重病を起こすグラム陽性球菌であり、ブタを扱う職業の人は注意が必要である。保健当局はヒトからヒトへの感染のおそれはないとしている。
97	2007/04/24	70096	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ペプシン	ブタ胃液	不明	製造工程	有	無	無	レンサ球菌感 染	ProMED- mail20070223.0668	70095に同じ